

三内丸山通信



発掘調査開始!

三内丸山遺跡では、ムラの移り変わりや人々の生活の様子を明らかにするため、毎年発掘調査を行っています。

今年度は、第50次発掘調査

として、昨年度に引き続き、第2号道路跡北端周辺を調査しています。この道路跡は南北に370m続き、北端周辺では、墓や掘立柱建物跡が確認されています。

今回の調査は、道路跡西側に確認された墓をはじめとする遺構の分布と詳しい年代を調べるのが目的です。

7月1日(火)からは発掘調査の公開を行い、9月12日



第2号道路跡北端周辺
現場ガイド集合場所

【発掘調査の様子】墓の上に置かれた石が見えます。縄文時遊館からの見学路は第2号道路跡の上に作られています。

(金)まで雨天の日や休館日等を除く平日の9時~12時、13時~16時30分まで発掘調査の様子を間近で見学できます。

11時から、発掘調査担当者による15分ほどの「現場ガイド」を行い、発掘調査に対する質問等にお答えします。調査地点は見学路に面していますので、ふるってご参加ください。

また、三内丸山遺跡公式ホームページの「発掘最新線」でも調査の様子を毎週、更新していますので、ぜひご覧ください。

さんまるで最高の夏の思い出作りを 「あおもりJOMON世界遺産ウィーク」

7月18日(金)から、27日(日)までは「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録4周年を記念した「あおもりJOMON世界遺産ウィーク」です。この期間の土・日・祝日は遺跡と常設展観覧料が**無料**です。

最新の詳しい内容は、三内丸山遺跡公式ホームページをご覧ください。

ウィーク期間中は先着700名へオリジナルマグネットをプレゼント!



夏休みは三内丸山遺跡で遊びつくそう!



【縄文ハンター (令和6年)】



【飲食店とマルシェの様子 (令和6年)】

夏祭り

7月19日(土)・20日(日)

遺跡や縄文時代に関する体験を楽しめます。弓を使って動物パネルに矢を当てる縄文ハンターのほか、大型竪穴建物のかやぶき屋根の修復に参加する貴重な体験ができます。発掘現場の近くで、測量器械を使う体験もあります。

世界遺産フェスタ

7月26日(土)・27日(日)

遺跡内では、キャラクターやアイドルによるステージイベント、マルシェや飲食店の出店などのイベントを実施します。館内では青森の縄文遺跡群を楽しみながら学べる謎解きラリーを開催予定です。「SNS映え」間違いなしのフォトコーナーを設置します。そのため、たくさん写真を撮るとって夏休みの最高の思い出を作りましょう!

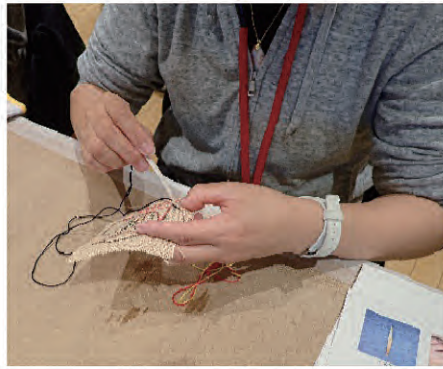
三内丸山遺跡公式ホームページ



さんまる縄文体験
のお知らせ

さんまる縄文体験の申込みを受付しています。

土器作りやシカの角で釣針を作り、実際に魚を釣る「釣針を作って魚を釣ろう」、イノシシの骨でぬい針を作る「縄文時代の針を作ろう」など楽しみながら学べるメニューを予定しています。



【「縄文時代の針を作ろう」の様子】

さんまる縄文体験 今後の予定

開催日	メニュー	定員	申込締切
8/9(土) 10/18(土)	土器を作ろう①・②	20	7/23(水)
10/4(土)	釣針を作って魚を釣ろう	25	9/17(水)
11/8(土)	縄文時代の針を作ろう	25	10/22(水)

※対象は小学3年生以上(小学3・4年生は保護者の同伴が必要です。)

くわしくは、公式ホームページで!

重要文化財を
修理しました

令和6年8月、1855点の出土品が重要文化財に追加指定されました。平成15年指定の出土品と合わせて、重要文化財は合計3813点になりました。

これらの中には、欠けや弱い部分など修理や補強が必要なものがあります。

令和6年度は、土器5点、骨角器4点の保存修理を実施しました。今後、さんまるミュージアムで展示する予定です。



修理後 修理前
【令和6年度に修理した重要文化財】

【お知らせ】

令和7年11月から三内丸山遺跡の重要文化財を集めた企画展を開催する予定です。詳細が決まりしだい、公式ホームページでお知らせします。

デジタル御朱印を集めよう

「北海道・北東北の縄文遺跡群」を巡り、デジタル御朱印を集める「縄文御朱印めぐり旅」を企画します。

お手持ちのスマートフォンで参加登録をして、縄文遺跡群へ出かけるだけ!

17の構成資産と2つの関連資産の御朱印をGPSで取得する「遺跡編」、ガイドン施設やイベント会場内の二次元コードにより御朱印を取得する「施設編」、「イベント編」の3つの御朱印帳をコレクションしましょう!

御朱印の取得数に応じたキャラクターの進化なども楽しめます!

開始日は令和7年7月25日(金)です。



御朱印キャラクター

詳しいお知らせと参加登録は、こちらからどうぞ



縄文遺跡群公式ホームページ



令和7年度特別展
「縄文時代のおわり」開催!

西日本でコメ作りが広まった頃、青森県ではいねいに作られた亀ヶ岡土器と呼ばれる土器や遮光器土偶、漆製品などに代表される「亀ヶ岡文化」の時期でした。

やがてコメ作りをはじめとする新たな文化は本州最北端の青森県まで伝わり、弘前市砂沢遺跡では水田跡が見つかっています。この地では縄文土器の伝

統が残る弥生土器や土偶を用いたまつりなど、縄文文化色が残る独特の弥生文化が成立しました。

本特別展では、それらについて詳しく紹介します。展示内容を深く知る事ができる関連講座とギャラリートークも開催します。日程と参加方法は三内丸山遺跡公式ホームページをご覧ください。



青森県の弥生土器(弘前市砂沢遺跡出土品・重要文化財)

三内丸山遺跡・縄文時遊館の
料金と見学時間のお知らせ

期間	特別展料金	遺跡・常設展料金	見学時間
7月17日(木)まで			
7月18日(金)～10月5日(日)の特別展開催期間(次のイベント期間を除く)	一般990円(790円)、大学生等500円(400円)、高校生以下無料	一般500円(250円)、大学生等250円(200円)、高校生以下無料	9～18時(入場は閉館の30分前まで:10月からは17時閉館)
イベント期間①夏祭り:7月19日(土)～21日(祝)②世界遺産フェスタ:7月26日(土)～27日(日)	一般490円(390円) 大学生等250円(200円)	無料	
10月6日(月)～		一般500円(250円)、大学生等250円(200円)、高校生以下無料	9～17時(入場は閉館の30分前まで)

※特別展料金で遺跡・常設展がご覧になれます。()内は20名以上の団体料金です。

休館日:8月25日(月)、9月29日(月)、10月27日(月)

